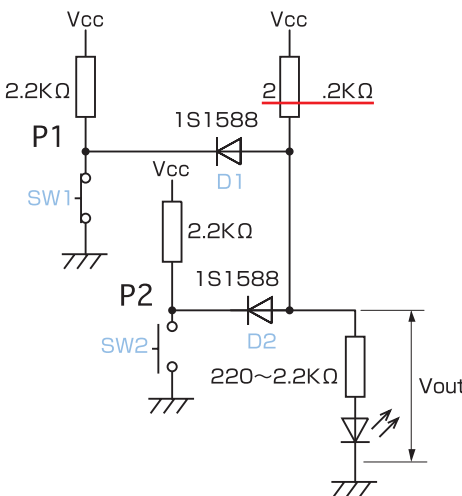
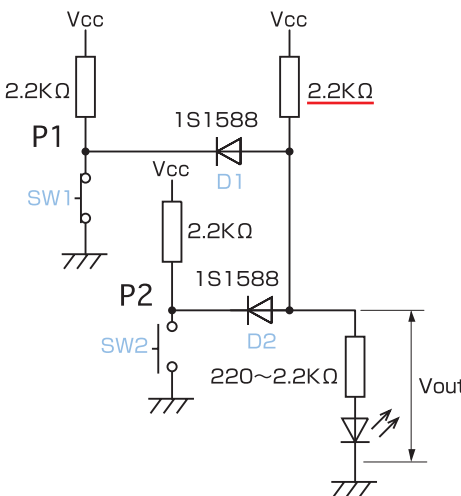
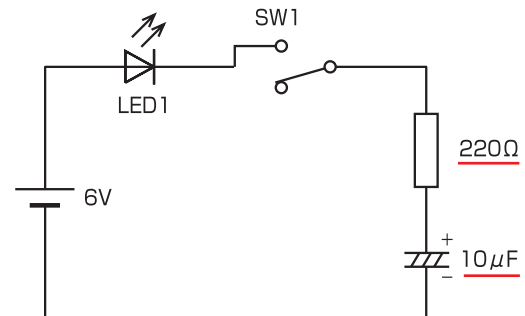
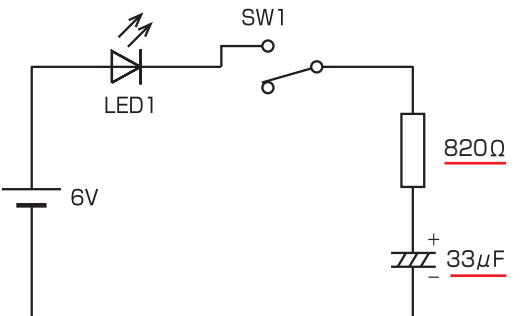
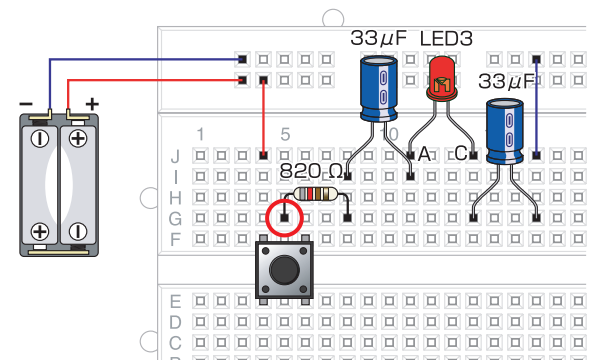
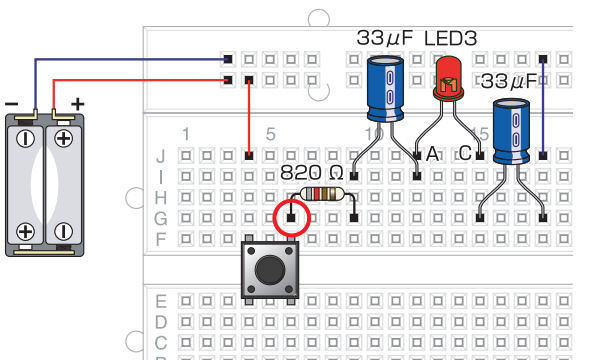
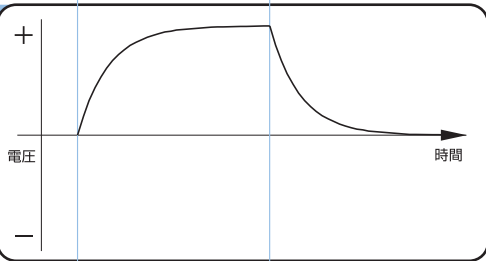
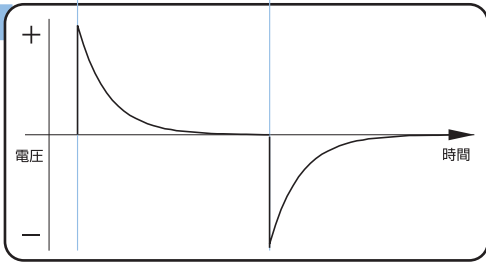
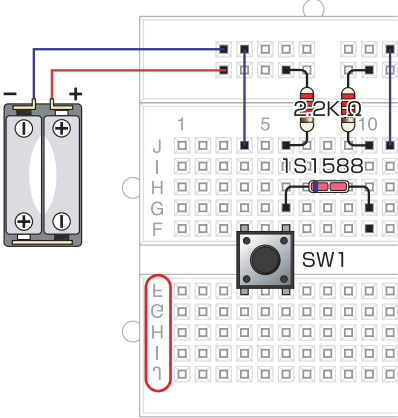
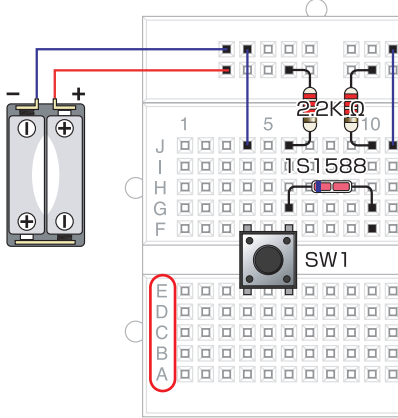


ページ	誤	正
P4	<p>ハンダ付けの3つのステップの説明 2. 濡れ促進 と 3. 酸化防止の説明文が逆</p>	<p>2. 濡れ促進 : ハンダのねばりを弱くして、ハンダの濡れ(流れ、広がり)を良くします。フラックスを含まないハンダは、ベタベタで広がらず玉になってしまいます。</p> <p>3. 酸化防止 : ハンダごてをあてている間、金属の表面を覆い 金属の再酸化を防ぎます。ハンダが広がる前に酸化してしまうと、ハンダはくっつきません。</p>
P6	<p>上から1行目 前ページの回路の接続例を載せておきます。</p>	<p>7ページの回路の接続例を載せておきます。</p>
P36	 <p>ダイオードを利用した AND 回路</p>	 <p>ダイオードを利用した AND 回路</p>
P42 P46		
P53	<p>最下 実体配線図</p> 	

ページ	誤	正
P55	<p>SWを上にも倒す</p> <p>SWを下にも倒す</p> <p>V1の波形</p>  <p>V2の波形</p> 	<p>図記号追加</p> <p>(a)</p> <p>(b)</p>
P55	<p>下から12行目</p> <p>従ってV1 が0V なので抵抗に電源電圧が</p>	<p>従ってV2 が0V なので抵抗に電源電圧が</p>
P55	<p>下から10行目</p> <p>でV1 が (a) のように発生します。</p>	<p>でV2 が (b) のように発生します。</p>
P55	<p>下から6行目</p> <p>コンデンサは放電を開始すると (a)</p>	<p>コンデンサは放電を開始すると (b)</p>
P64 STEP12		
P64 STEP13	